

校長だより 令和2年8月24日

島根県立大東高等学校  
校長 田根 衛

その17

～ 2学期がスタートしました ～

【1】 8月18日は、気温が33度を超える厳しい暑さのため、会議システム zoom を使い、各教室での始業式となりました。

そしてこの猛暑の中、学園祭準備がスタートしました。コロナ感染症対策としてマスク着用での作業のため、定期的に校内放送で休憩タイムを入れ、また教室の冷房だけでなく体育館用に大型扇風機を購入し、熱中症の対策をとっています。

また、コロナ感染拡大予防対策として、学園祭（文化祭）の観客は生徒だけ、体育祭の観客も3年生保護者（1名）のみとしました。保護者の皆様のご理解・ご協力を得ながら、このような対策を講じつつ、思い出深い学園祭となるよう準備作業を進めているところです。



生徒会執行部が昇降口に掲示した学園祭テーマ、「彩（カラフル）、織部の地に咲かせよう希望の華」

【2】今年7月、大東町内の恩田肇様、和枝様ご夫妻から、万葉集の山部赤人の和歌2首が書かれた扁額を寄贈していただきました。（←左の写真）

書は大東町の藤原双鶴（一男）氏によるもので、恩田様が所有しておられたものです。

8月中旬に図書館の出入り口の上に設置し、左側の壁に解説プレートを貼っています。（↓下の写真左の白い板）



「三吉野乃 象山際乃  
木末爾波 幾許毛散和  
□ 鳥之聲可聞」  
「烏玉之 夜乃深去者  
久木生留 清河原爾  
知鳥数鳴」

み芳野の象山の際の木  
末には幾許も騒ぐ鳥の  
声かも  
ぬば玉の夜の深けぬれ  
ば久木生ふる清き河原  
に千鳥しば鳴く  
～山部赤人～